

# ICLS指導者養成WS制度と 新規Webシステムの概要

日本救急医学会ICLSコース企画運営委員会

2019/12/11発表

# 目次

- (1) ICLS認定インストラクター申請時におけるWSの位置づけ
- (2) ICLS指導者養成WS認定インストラクター制度制定の背景
- (3) 用語・参加区分
- (4) 資格取得・更新・失効について
- (5) WS認定インストラクター/アシスタントインストラクターについて
- (6) WS認定ディレクター/WSディレクター見習いについて
- (7) ICLS指導者養成ワークショップ認定条件
- (8) BLSについて
- (9) ICLSコース企画運営委員会からのお願い

## 【重要な変更点】

### (1) ICLS認定インストラクター申請時におけるWSの位置づけ

#### ICLSインストラクター認定基準

##### <現状（変更前）>

2) 日本救急医学会認定のICLS指導者養成ワークショップ（または日本循環器学会、AHA(ACLS, BLS, その他)、ISLS、PSLS、JPTEC、ITLS、JATEC、JMECC等のインストラクターコースも代替可）に参加し、指導法を身に付けた者



##### <今後（変更後）（2020年9月1日申請分より）>

2) 日本救急医学会認定のICLS指導者養成ワークショップに参加し、指導法を身に付けた者（日本循環器学会、AHA(ACLS, BLS, その他)、ISLS、PSLS、JPTEC、ITLS、JATEC等のインストラクターコースでの代替は不可）

「認定番号が付与されている指導者コースの受講歴」

## (2) ICLS指導者養成WS認定インストラクター制度 (以下,WS認定制度) 制定の背景

- ・ICLS指導者養成WSには、WSディレクターの指揮の下、グループごとに指導できる者(ファシリテーターなど)が必要
- ・ブースの指導者は、WSにおいて適当な指導経験がある者が最適



2020年3月2日～

WSの質の担保を目的にWS認定インストラクター資格を新たに制定

**WSの質の担保をする**

## (3)用語・参加区分

2020年3月2日～

### 【ICLSコース】

- ・ICLSアシスタントインストラクター
- ・ICLS認定インストラクター
- ・ICLSコースディレクター見習い
- ・ICLS認定コースディレクター

### 【ICLS指導者養成WS】

- ・ICLS指導者養成ワークショップ(以下WS)アシスタントインストラクター: **新規**
- ・ICLS指導者養成WS認定インストラクター: **新規**
- ・ICLS指導者養成WSディレクター見習い
- ・ICLS指導者養成WS認定ディレクター(以下、WSディレクター)

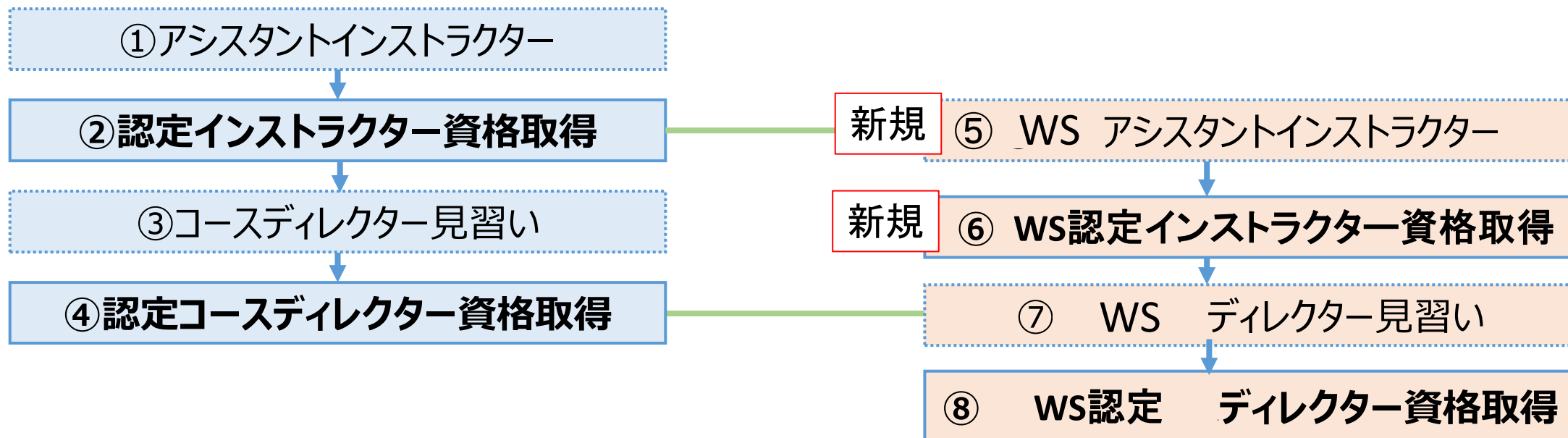
※従来の「サブディレクター」の呼称は「ディレクター見習い」に統一

(4) 資格取得・更新・失効について

# 資格取得のフロー

ICLS認定インストラクター・ディレクター資格

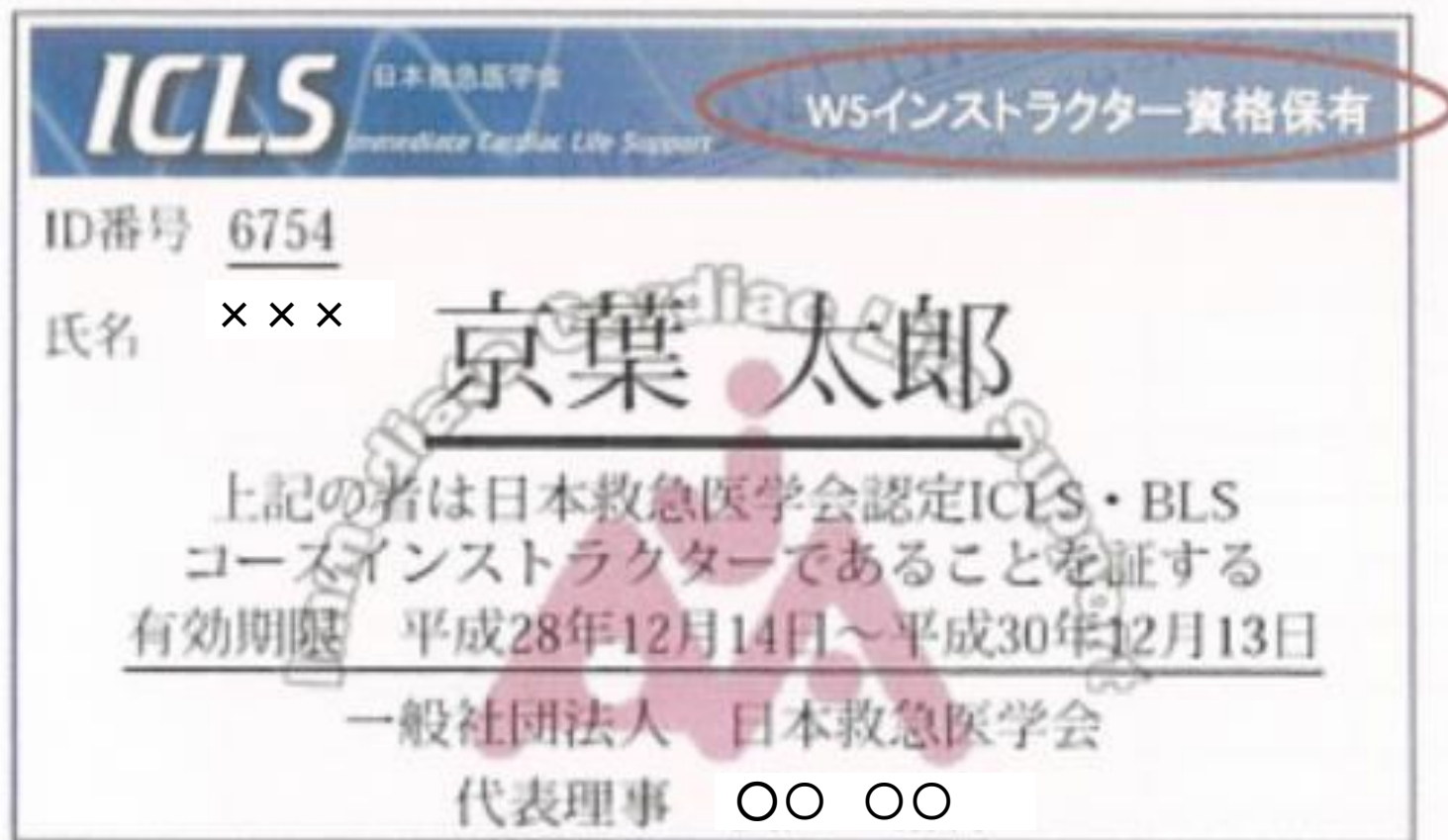
付加されるWS資格



※従来のICLS及びWSにおける「サブディレクター」は「ディレクター見習い」に統一  
※従来通り、ディレクター見習い・ディレクターは医師に限る

(4) 資格取得・更新・失効について

## WS認定インストラクター認定証(予定見本)



※WS認定ディレクターのカードでの資格は  
「ICLS指導者養成WSディレクター」と証される



## 各資格の更新に必要な参加回数

現状:ICLSでもWSでも、指導回数は1回と算定

ICLS指導者養成WS認定資格は2年で最低1回の参加が必須

2年間で必要な参加回数	ICLSコース	指導者養成WS
ICLS指導者養成WS 認定ディレクター資格	WSを含めて2回以上のディレクター (うちWS指導1回以上)	
ICLS指導者養成WS 認定インストラクター資格	WSを含めて2回以上の指導 (うちWS1回以上)	
ICLS認定ディレクター資格	2回以上のディレクター	×
ICLS認定インストラクター資格	2回以上の指導	

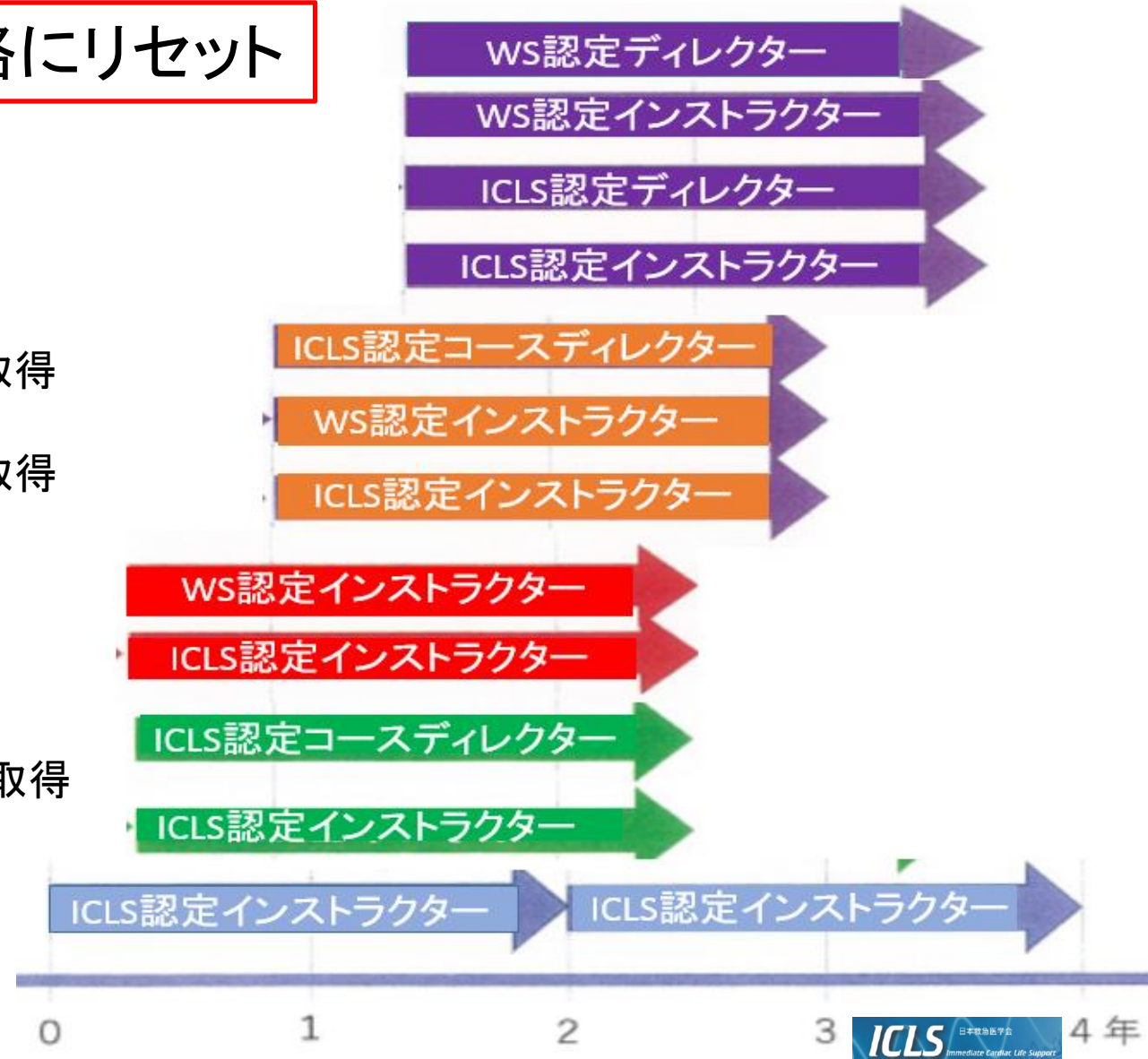
上位の資格が更新できれば下位の資格は自動更新



# 各資格取得後の更新(有効)期限

更新期限: 最後を取得した資格にリセット

- ・ICLS認定ディレクター(医師)がWS認定ディレクターを取得
- ・ICLS認定ディレクター(医師)がWS認定インストラクターを取得  
or
- ・WS認定インストラクター(医師)がICLS認定ディレクターを取得
- ・ICLS認定インストラクターがWS認定インストラクターを取得
- ・ICLS認定インストラクター(医師)がICLS認定ディレクターを取得
- ・ICLS認定インストラクターが資格を通常更新(2年毎)



(4) 資格取得・更新・失効について

# 資格失効のフロー

【スライド16枚目・20枚目を参照】



- ◆ 下位の更新ができなければ全て失う
- ◆ WSディレクターはコースディレクターとWSインストラクターの保持で成り立つ

新規

2020年3月2日～

## 「ICLS指導者養成WSアシスタントインストラクター」の参加要件

ICLSコース認定インストラクターの資格を持つ者は、ICLS指導者養成WSアシスタントインストラクターの資格を得る。

注：2020年9月1日以降、WSインストラクター申請時には、認定番号が付与されているWSの受講履歴が必須となる（代替の指導者養成コースの受講履歴では不可）。（「ICLS指導者養成WSインストラクター」新規申請の条件3）参照）

新規

2020年3月2日～

## 「ICLS指導者養成WSインストラクター」新規申請の条件

以下の基準のすべてを満たした者は、ICLS指導者養成WSインストラクターの認定申請ができる。

1) 日本救急医学会認定のICLS指導者養成WSに、ICLS指導者養成WSアシスタントインストラクターとして2回以上参加し、指導法を身に付けた者

なお、申請時から遡り、全て3年以内（注）のWS指導経験とする。

（注：2021年3月1日23時59分までの申請分に関しては、3年以内に限らず2017年3月2日からの少なくとも2回のWS指導経験で構わない）


2) ICLS指導者養成WS認定ディレクターから推薦された者

（申請時に、必要なコースディレクター認定番号が必要となるため確認すること）

\* 2020年9月1日以降、ICLSインストラクターの認定のために日本救急医学会認定のICLS指導者養成WSの受講が必須となりましたが、2020年8月31日以前にICLSインストラクターに認定されている方は、改めてのICLS指導者養成WS受講は必要ありません。

\* 推薦者となるWSディレクターは、被推薦者が指導経験として参加したWSのいずれかのディレクターであること

\* 新規申請は、自らがwebより行うこと

<p>WS認定インストラクター 申請時の条件1、2 (横軸は申請日時)</p>	<p>2020年3月2日 メンテナンス終了後 ～ 2020年8月31日 23時59分</p>	<p>2020年9月1日 0時 ～ 2021年3月1日 23時59分</p>	<p>2021年3月2日 0時 ～ 2023年3月1日 23時59分</p>	<p>2023年3月2日 0時 ～</p>
<p><b>【申請条件 1)】</b> <b>WS指導経験</b></p>	<p>2017年3月2日から 少なくとも2回の ICLS認定インストラク ターまたは WSアシスタントインスト ラクターとしてのWS指 導歴</p>	<p>同左</p>	<p>申請日の3年前の 日付より起算した 3年間で 少なくとも2回の ICLS認定インストラク ターまたはWSアシスタ ントインストラクターとし てのWS指導歴</p>	<p>申請日の3年前の 日付より起算した 3年間で 少なくとも2回の WSアシスタントインスト ラクターとしてのWS指 導歴</p>
				

**重要**

## 現在ICLS認定インストラクターで、 WS認定インストラクター資格取得を目指す場合の対応

(2020年3月2日メンテナンス終了後)

条件を満たした後に、Webにログイン、新規申請してください。  
(前項参照)



**重要: 自動認定ではありません!**

後日、認定可否のメールあり

- ・既にWS認定インストラクターの新規申請条件を全て満たしている方は、2020年3月2日以降、速やかな申請をお願い致します。
- ・2020年9月1日以降、ICLSインストラクターの認定のために日本救急医学会認定のICLS指導者養成WSの受講が必須となりましたが、2020年8月31日以前にICLSインストラクターに認定されている方は、改めてのICLS指導者養成WS受講は必要ありません。



新規

# 「ICLS指導者養成WS認定インストラクター」の更新要件

(自動更新)

＜前提＞ICLS認定インストラクター資格を維持していること

2年間(有効期限内)に1回以上のWSでの指導

\* ICLS認定インストラクターの更新に必要な2回の指導歴を、WSにおける指導歴に置き換えることができる。

(更新可否の例は次項参照)

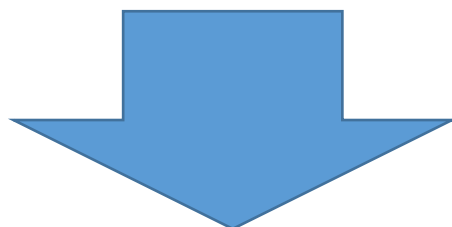


2年間のインストラクター参加による資格自動更新・失効一覧表	ICLSコースインストラクター参加なし	ICLSコースインストラクター参加1回	ICLSコースインストラクター参加2回	ICLSコースインストラクター参加2回以上
WSインストラクター参加なし	ICLSインストラクター資格：失効 WSインストラクター資格：失効	ICLSインストラクター資格：失効 WSインストラクター資格：失効	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：失効	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：失効
WSインストラクター参加1回	ICLSインストラクター資格：失効 WSインストラクター資格：失効	ICLSインストラクター資格：更新 IWSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新
WSインストラクター参加2回	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新
WSインストラクター参加2回以上	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新	ICLSインストラクター資格：更新 WSインストラクター資格：更新

## 「ICLS指導者養成WSディレクター見習い」としての参加条件

### 現行

ICLSコース認定ディレクターの資格を持ち、ICLS指導者養成ワークショップで指導経験のある者は、ICLS指導者養成ワークショップ認定ディレクターのサポートのもとで、ワークショップディレクター見習いをする事ができる。



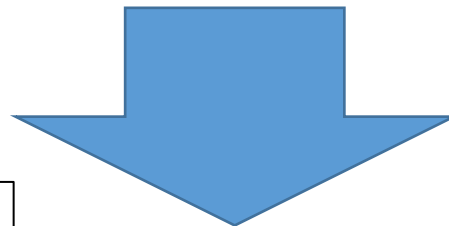
### 新制度(2020年3月2日～)

ICLSコース認定ディレクターの資格を持ち、**かつ、ICLS指導者養成WS認定インストラクターである者は**、ICLS指導者養成ワークショップ認定ディレクターのサポートのもとで、ワークショップディレクター見習いをする事ができる。

# 「ICLS指導者養成WS認定ディレクター」新規申請のための条件

## 現行

ワークショップディレクター見習いとして実質的な開催経験がある者は、ワークショップ認定ディレクターからの推薦により、ワークショップディレクターの認定申請ができる。  
(申請は推薦者がおこなう)



## 新制度(2020年3月2日申請分～)

- ・ WSディレクター見習いとして実質的な開催経験がある者は、**2名のWS認定ディレクター**からの推薦により、ワークショップディレクターの認定申請ができる。
- ・ **推薦者となるWSディレクターは、被推薦者が開催経験として参加したWSのいずれかのディレクターであること。**  
(申請は推薦者がおこなう)

新規

## 「ICLS指導者養成WS認定ディレクター」の更新要件

(自動更新)

ICLS認定ディレクターとして、2年で2回以上のコース開催  
(2回のうち、少なくとも1回はWSの開催であること)

(更新の可否の例は次項参照)

2年間でのコースディレクター指導によるディレクター資格自動更新・失効一覧表	ICLSコースディレクター指導なし	ICLSコースディレクター指導1回	ICLSコースディレクター指導2回	ICLSコースディレクター指導2回以上
WSディレクター指導なし	ICLSコースディレクター資格:失効 WSディレクター資格:失効	ICLSコースディレクター資格:失効 ICLS指導者養成WSコースディレクター資格:失効	ICLSコースディレクター資格:更新 ICLS指導者養成WSコースディレクター資格:失効	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:失効
WSディレクター指導1回	ICLSコースディレクター資格:失効 WSディレクター資格:失効	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新
WSディレクター指導2回	ICLSコースディレクター資格:更新 IWSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新
WSディレクター指導2回以上	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新	ICLSコースディレクター資格:更新 WSディレクター資格:更新

## 既に認定されているWSディレクターの皆様へ

既に認定WSディレクターの方は、新制度に伴い自動で登録が移行されます。

2020年3月2日の午前10時の時点で、既にWSディレクターとして認定している方はシステム稼働後にWS認定ディレクターとして自動登録されます。  
新制度に伴う申請は不要です。

WSの結果登録時、アシスタントは、「ICLSインストラクター」ではなく、「WSアシスタントインストラクター」として登録してください。

(2020年3月2日メンテナンス終了後以降)

WSに関するweb上の権限は、以下の通りです。

- ・新規のWSディレクター推薦
- ・WSの申請と結果登録

# (7) ICLS指導者養成ワークショップ認定条件

現行

1. ICLSコースで用いられる代表的な指導法を盛り込んだコース設定であること。
  2. 指導法を習得するためのロールプレイステーションがあること。
  3. ロールプレイステーションに必要なスキルを習得するためのスキルステーションがあること。
  4. 各実技ステーションの受講生は1グループ8名以内であること。
  5. 認定ワークショップディレクターが開催ディレクターとなり、ワークショップの質を保証する。
  6. 各ブースに1名以上のICLS認定インストラクター、および1名以上の指導者養成ワークショップ指導経験者がおり、各ブースの質を保証する。
- ※コース申請時には受講生の公募枠を設けることが望ましい。  
※ICLS指導者養成ワークショップでは、使用するテキストは問わない。

新制度(2020年3月2日申請分～)

1. ICLSコースで用いられる代表的な指導法を盛り込んだコース設定であること。
  2. 指導法を習得するためのロールプレイステーションがあること。
  3. ロールプレイステーションに必要なスキルを習得するためのスキルステーションがあること。
  4. 各実技ステーションの受講生は1グループ6~8名以内であること。
  5. WS認定ディレクターが開催ディレクターとなり、ワークショップの質を保証する。
  6. 各ブースに1名以上のWS認定インストラクターがおり、各ブースの質を保証する。
  7. 指導者総数の上限は参加者の1.5倍までとする。
- ※コース申請時には受講生の公募枠を設けることが望ましい。  
※ICLS指導者養成ワークショップでは、使用するテキストは問わない。  
※WSでもICLSコースと同様に、1回の開催についてディレクターは2名まで登録できる。



# (8) BLSコース申請

コース申請の際、開催日について下記の条件で、エラーを表示し申請不可とします。

1. 入力された開催日が、開催日当日の場合
2. 入力された開催日が、過去の日付の場合

## コース申請

[・コース申請は開催日の2週間前までに行ってください。2週間を切った場合は事後申請となり認定できません(2016/4通達)。特段の事情があり事後となってしまった場合には、地区担当委員までその理由を付してご連絡ください。  
・申請者は開催するディレクターであり、もしディレクターが交代となる場合は、コースの再申請が必要です。]

開催日 ※	2018 - 02 - 20 1 日間		
コース開催地 ※			
開催地区			
開催都道府県 ※	-		
コース名称 ※			
ブース数 ※	0	受講者数 注1 ※	0 名
		指導者数 注1 ※	0 名
開催施設名 ※	ICLSコース 指導者養成WSコース		
コース種別 ※	BLSコース	ガイドライン年版 ※	例: 2015 (指導者養成WSコースは不要)
プログラム・時間 注2 ※	スキル (WSコースは講義) 0 分	シナリオ (WSコースは実技) 0 分	コース総時間 0 時間(整数)
一般公募 注3 ※		公募期限 ※公募する場合	
連絡先(公募する場合)	(記載がそのまま公開されます)		
認定可否	コース状態		
認定日	認定者		
コースキャンセル	コース開催のキャンセルは、申請後、画面下部に表示される「削除」より行えます。すでに認定されているコースは「コース結果入力」画面より削除してください。		

# BLS/ICLS/ICLS WSコース結果入力

ある一定期間を過ぎたコースの結果入力が行えなくなります。

ICLSコースおよびICLS指導者養成WSに携わる認定インストラクターの指導歴が自動更新に影響しますので、各コースの認定コースディレクターの先生方は、引き続きまして**コース終了後の速やかな結果入力をお願い申し上げます。**

日本救急医学会ICLSコース企画運営委員会

## (9) ICLS企画運営委員会からのお願い

ICLS WSインストラクター更新関連メールが届きます

◎ICLSコース企画運営委員会からのメールが確実に届くメールアドレスをお持ちでないインストラクターやコースディレクターがいらっしゃいましたら、ログイン画面から個人情報にアクセスして変更するように周知願います。

日本救急医学会ICLSコース企画運営委員会